

# 白内障手術プロジェクトが始動

PMS・AMDA・一隅を照らす運動総本部がタッグ

## 次々と施術後の喜びの声届く

報告 PMSパンニャ・メッタ・サンガ 事務総長 シーララトナ・カワデ

数年前に神峯山寺にて近藤眞道住職、認定特定非営利活動法人アムダ菅波茂会長とサンガラトナ師との間で禅定林近郊で医療活動を行うことが合意され、間もなくアムダのニティアン氏、菅波茂会長が禅定林訪印。ポーニまたナグプールの医師達と相談したところ、現地は50度近くまで上昇する気温、乾燥や埃といった過酷な気候のために白内障患者が多く、貧しさ故に手術をすることもできず、その苦しみを抱えながら日々を送らざるを得ない。協会が無料で白内障施術行えば多くの人助かるだろうと奨励され、アムダ及び天台宗一隅を照らす運動総本部、パンニャ・メッタ・サンガの共同プロジェクトとして「無料白内障手術プロジェクト」を行うことになりました。

2月15日に協力を得るナグプールのマハトメ眼科病院から眼科医等が禅定林に来寺、191人が術前検診を受け、74人が白内障と診断されました。2月23日協会が用意したバスで46人がマハトメ眼科病院に到着、高血圧等手術にそぐわない体調の人を除き39人が手術を受けました。

同様に5月12日に夏休み中のナグプールのPM学園舎を利用、術前診察を行い119人が受診、17



▲プロジェクトにより視力を回復した人たち

日に14人が同病院で手術を受けました。目の光を失ったために長年幾重もの苦しみを抱えて過ごした人たちの視野がクリアになり、人生に大きな光がさしこんできました。彼らの喜びは筆舌尽くし難いものがあります。

以前ルヤード村の村長を務めた女性も手術を受けた一人ですが、このプロジェクトがなければ、自分もいつ手術を受けることができたか不安であった。プロジェクト主催者に感謝の言葉もないと涙ながらに述べていました。このような歓喜の声を聞き我々自身が癒されました。

皆様のご支援で今後もこのような医療活動が継続でき、多くの人たちの喜びに満ちた顔を見ることができれば嬉しく思います。

## 今年もPMYから インドの子供たちに靴の贈り物

PMYパンニャ・メッタ・ユース  
山崎 典子

私の人生初の海外旅行はインド、異文化に驚き、エネルギー溢れる人達と出会い、言葉も解らないまま何日か過ごし、帰る頃には『また、行こう!!』とはまってしまった1995年から、毎年訪印している日本人です。

パンニャ・メッタ・ユースの活動の一つとして『子供たちの家の子供達に靴を贈ろう』と、有志の協力で子供達へ靴を贈る活動を行っています。まず子供達全員の“名前”“靴のサイズ”などをサンガさんに知らせてもらい、人数分の靴を“年齢”や“性別”写真を見て、好みそうなものを日本で調達、郵送でなく、子供の家まで持参することをモットにしています。

1月下旬の出発当日、靴をギュウギュウに詰め込んだ特大スーツケース2個を持って出発!! 今回は帰国するマノハルと言う助っ人と一緒なので頼もしい旅でもありました。



▲子どもたちに靴を手渡すPMYの山崎さん

深夜デリー到着後ちょっと仮眠、早朝の列車に乗り込み約16時間でナグプール到着。車で2時間かけパンニャ・メッタ子供の家へ。正直、道のりは長いのでチョット大変ですが子供達の笑顔を見ればそれも吹っ飛びます。

靴は私が代表して、子供達と子供達を本当の家族のように育ててくれているスタッフにも日頃の感謝を込めて一人一人に贈らさせていただきました。

自分の名前が呼ばれるのを『今か今か』と待ちながら、目をキラキラさせている子供達の姿を見ると、少し緊張すると同時に喜んでもらっていることを実感、とても嬉しく思いました。

靴を受け取った子供達、男子は試し履き、見せ合った後は大事そうに自室に持ち帰り、女子は一部屋に集合、急遽お披露目女子会が行われていました。自分の靴を履

いてポーズを決めて見せるのは勿論のこと、互いに貸し借りしては『あ〜だ、こ〜だ』言いながらワイワイやっている姿もまた微笑ましい光景です。

PMYは今後も大小関わらず活動を継続したいと思っています。この会報をご覧になれる方達にも『PM子供の家』に興味を持っていただけたらとも思います。



## 仏法を求めて日本へ

マノハル・メシュラム



私は9歳の時にPM子供の家に来て以来、人生の大半を禪定林で過ごしています。私の人生は禪定林、サンガラトナ師によって形成されたと自負しており、この度の2度目の訪日も師のご尽力で叶いました。

2005年仙台の宝幼稚園のお招きでゴータム氏と2人で1月半滞在しました。多くのことを見聞したとは言え、観光の視野での滞在でした。

今回は確固たる目的がありました。修行、様々な経験を積ませていただき、自己啓発また禪定林、PMS活動に反映させることでした。最初の1ヵ月は坂本の宝林寺に滞在その後、神峯山寺及び毘沙門堂門跡にお世話になりました。寂南覚範門主、小林執事長、近藤神峯山寺ご住職、茂松宝林寺ご住職に御礼申し上げます。

サンガラトナ師がインドに戻る直前に比叡山無動寺に移動することになりました。師の帰国後日本で一人になるために、少し容易な所でお世話になるのかと考えましたが、池から出て大海原に入れられた感がありました。



▲無動寺で作務に励むマノハル氏

数日間は日程をこなすのに精一杯、起床から就寝まで、時間の経過すら理解できませんでしたが、星野圓道阿闍梨様の丁寧なご指導のおかげで理解が進み、無動寺の日々こそが日本に来た目的だと実感できました。

信仰と座禅によって仏法は体感でき、そのために肉体的修行が不可欠であると知りました。合わせて、修行は師から弟子へと相承されるもので

あって、本から得る知識だけでは不十分だと感じました。インドでは数冊の経典を読誦だけで仏法を理解したと受け取られがちですが、師からの教え無くして仏道の実体験はできないと知りました。多くの方々に教授いただきながらも、非才のために納得していただける進歩は無かったと思いますが、この度日本で得た内容を当初目的のために活かしたいと思っています。多くの方々にお世話になり、本来全ての皆様に御礼申し上げるべきですが、紙面をお借りして御礼を申し上げ、今後ともご教授いただけますようお願いいたします。

## 禪定林と ポーニの仏跡

前裁判官 マヘンドラ・ゴスワミ  
(ポーニ市在)

2月8日の禪定林法要に15万人以上の人々が参加したと新聞各紙は報じました。大本堂建立以来2月8日だけでなく、満月や新月の特別な日、また毎日多くの人たちが参拝に訪れています。

禪定林が民衆信仰の一大道場になっていることは言うまでもありませんが、民衆が禪定林に抱いているもう一つ大きな要素があると思っています。人々は2300年前にアショーカ王がポーニに建立した仏塔その歴史の復元と重ね合わせているように感じています。半生への懺悔、釈尊の遺徳をしのび、仏法流布のためにアショーカ王はインド全土に八万四千の仏塔を建立。うち四つがここポーニで発掘されています。当時のポーニはインドの中心、大都市に属していたため多くの人々が容易に参拝が可能でした。その一つはサンチ仏塔の1.5倍あったと予想され、マハワシユ經典の教えに則って蓮華、法輪、龍、行道等の図柄が石の柱や梁に彫られ、寄進者の名前、合わせて誰が誰にどの様な思いで寄進したのかも明記されてい

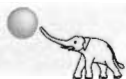
ます。これら全ての史実はここが他宗教の施設では無く、紛れも無く仏塔の跡だと証明しています。

1969年以後数回にわたり考古局が発掘調査を行いました。その内容は僅か2割に過ぎず、発掘された仏像、托鉢用の鉢等は、博物館を建て現地に保存することも無く、あちこちに分散されました。仏塔そのものの上にも他宗教の寺院が建てられています。千年来半世紀前までこの一帯に仏教社会は存在しませんでした。しかし1956年にアンベドカル菩薩のお導きにより仏教が再生しました。我々仏教徒が2500年の息吹を感じるためにも、インドの真実の歴史保存のためにも、考古局が発掘を再開するための大きな役割をPMSに担って欲しいと願っています。



▲ポーニのアショーカ王建立仏塔遺跡・左から4人目が筆者

# PM 活動概要



PMSは中部インドを中心に、宗教・福祉・教育・医療・生活等、多岐にわたっての活動を展開しています

## 1. 宗教部門

- ①禪定林 … インドに一乗仏教の再興を目指し、1882年、ナグプールから約90キロ離れたルヤード村に土地を購入して、1987年2月8日僧房を併用する仮本堂の落慶。2000年には積尊の一代記を仏像群で表現した仏跡庭園、つづく2003年には第二僧房が完成した。2007年2月8日に落慶した大本堂には毎日数多の参詣者があり、中部インドの一大聖地として、多くの仏教徒の心の拠りどころとなっている。
- ②ブラジュニャギリ (智恵山) 大仏 … 積尊の慈悲によって、人間のみならず山川草木全ての生命が共生し幸福であることを祈念して、チャットイスガル州ドンガル市郊外のブラジュニャギリ山上に1998年2月6日に、20メートルの釈迦牟尼大仏を建立落慶。毎年2月6日に行なわれる例祭には数万人の参拝者があり、民衆の心の癒しの聖地となっている。

## 2. 教育部門

- ①パンニャ・メッタ学園
  - ☆一隅を照らす保育園・幼稚園 … 行政は5年生までの通学を奨励しているが、貧困、家庭・社会的悪環境のために保育・幼稚園にすら行くことが叶わず、学校教育はもとより、情操教育からかけ離れた日常を送っている児童の教育環境改善を目的に、北ナグプール、スガトナガル町の民家を借り1995年に開園した。
  - ☆さきたま小学校 … マハラシュトラ州政府の認可を得て2002年6月に開校。州では1年生から4年生までを小学校としているため、当小学校も規定に準じ運営している。
  - ☆みやこ中学校 … 2007年新校舎完成に伴い、学園全般を借家から移行。州政府の規定に従い5年生から10年生までを運営している。他校が新人生誘致に労力を余儀無くされているなか、教育内容を重んじる父兄はPM学園を最優先に考えている。現在学園在学学生総数は約700人である。
- ②作文コンテスト … 1995年を第一回目とし、毎年秋頃に開催。その年

に重要とされた宗教、社会、文化等の問題を題材に、特に青少年の参加を期待して行っている。毎年数十名が参加、上位三者の文章を、同時期にヒンディー語で発行している「マハサマディ」会報に掲載している。作文コンテストは20回を数え、会報は22回を数えた。

- ③日本語教室 … 日本語教師派遣の日本のNGOから教師を派遣してもらい、PMS本部で半年スパンで開催。4回目を数えた。

## 3. 社会福祉部門

- ①パンニャ・メッタ子供の家 (孤児院) … 禪定林仮本堂の一部を利用し、宗教、民族、貧困、カースト等様々な障害を持っている子供、男子4名女子3名で1991年に開設。現在は小学生から大学生までの男子20名女子20人が夢を叶えるべく学業に邁進している。
- ②パンニャ・メッタ図書館 … ポーニ市内に民家を借り1995年に開設した。数千冊を有する一般図書館としての役割を果たしている一方、電気等が無く家庭内に教育環境を有しない学生のために教材を無償で貸し出し、24時間利用できる部屋を提供している。老朽化、浸水によって休館が倒壊、2006年2階建ての新館が完成。

## 4. 医療活動

- ①一日診療 … PMS発足日を記念して12月に眼科、耳鼻咽喉科の医療従事者の協力を得て禪定林で無料検診を行っている。
- ②巡回医療 … 現代社会からかけ離れた環境で生活している、主に原住部族が居住している地域で巡回医療活動をしている。
- ③白内障手術プロジェクト … 14年に開始。禪定林近郊農村地域及びナグプールのスラム街に住む貧困層に無料で手術を行っている。第1回目の今年は75人がターゲット。

## 5. 緊急支援活動

- 災害時救援活動 … 2001年、西インドの地震、2004年のスマトラ沖地震によるチェンナイ近郊の被災地で教育・医療・日常生活に対する救援、また2011年の東日本大震災時にも支援、慰霊活動を行った。

# PMS活動ご支援のおねがい



パンニャ・メッタ協会の活動にご鞭撻、ご支援いただいていますことに深く御礼申し上げます。お陰をもちまして、お届けしておりますPMJ会報も19号を迎え、宗教・福祉・医療等の活動が継続できています。1991年、3歳で子供の家に来たゴータム氏は法学部修士課程を修了。博士課程を目指しています。同じように高学歴を修了し、それぞれの道を歩んでいる卒園生がたくさんいます。また、在園中の青年で大学の工学部に通ったりと夢に向かって邁進し、結果を出しています。誰かの少しの手助けで夢を叶えることのできる青少年が沢山います。PM学園を巣立った学生が望む人生を送れるのも、図書館利用で時間に縛られることの無い電気のある学習環境を得て再度学業に目を向けた学生も数多くいるのも、皆さんからの浄財のお蔭です。PMSの日本の公式窓口であるPMJパンニャ・メッタ協会日本委員会では、次の二つの方法にて支援をお願いします。多くの方の支援をお待ちしています。尚、振替用紙備考欄に支援種別をお書きいただければ幸いです。 合 掌

- 1) 個人会員 1口/ 5,000円(複数口可能) その他、随意のご寄付も  
お願いいたします
- 2) 団体・法人会員 1口/10,000円(複数口可能)

**郵便振替** □座番号 00950-0-10281  
□座名義 PMJパンニャ・メッタ協会日本委員会

**ゆうちょ銀行以外からの振替用口座番号**  
ゆうちょ銀行099(ゼロキユウキュウ)店 当座 0010281

### 編集後記

☆会報(多部数)及びリーフレットが必要の方は、事務局までご一報下さい。一人でも多くの方に活動地の状況や活動内容をご理解いただけたら幸いです。

☆無理をお聞きいただき、ご多忙の中寄稿いただきました皆さんに御礼申し上げます。

☆19号も構成・印刷を大津紙業写真印刷株式会社様にお世話になりました。感謝申し上げます。

☆今号の表紙ロゴは、パンニャメッタ子供の家のパツラヴィが描きました。記録となった気温48度の中、絵の具を薄める水が不必要なほどの汗をかきながらの絵描きでした。

☆印刷会社以外は、素人集団が発行している会報のために不備も多々あるかと思えます。記事の内容、構成等、些細なことでもご意見をいただけたら会報の向上に繋がります。協会の活動に対するものも併せて、声をお聞かせ下さい。

☆会報前から天台宗務庁のご好意により、天台宗寺院へのPMJ会報の発送業務をしていたいただいています。感謝申し上げますと共に、今後共よろしくお願い申し上げます。また、一般会員への発送は、この度も事務局長の住職寺である白毫寺の檀信徒の皆さんにご協力いただきました。ありがとうございます。